

## 授業計画（シラバス）

<b>■科 目</b>	<b>生物学</b>	<b>■講師名</b>	藤田 智史・小林 理美
Ⅱ部1学年	前期	8コマ（1コマ90分授業）	総時間 15時間 講義 1単位
<b>■学修概要</b>			
生物学に関する知識を得ることで、解剖学、生理学、生化学、免疫学の土台作りをする。また、昨今明らかになってきた生命科学の新しい概念や技術について知り、臨床歯科医学への足掛かりとする。			
<b>■授業目的、到達目標</b>			
生命の単位となる細胞を作る物質、細胞小器官、細胞の活動を説明できる。細胞の働きの例として骨格筋の収縮メカニズムを説明できる。細胞分裂について説明できる。組織、器官、器官系について説明できる。生殖、遺伝、遺伝子発現、発生について説明できる。感覚器について説明できる。ホメオスタシス、自律神経、ホルモンについて説明できる。生体防御の基本的な概念を説明できる。			
<b>■授業方法</b>			
講義資料を投影して講義を行う。			
<b>■教科書（書籍名・出版社）</b>			
歯科衛生学シリーズ／生物学 医歯薬出版			
<b>■成績評価・講義上の注意</b>			
出席状況、及び定期試験による。			
<b>■実務経験</b>			
藤田智史：薬理学、神経科学を中心とした研究経験に基づいて、教科書に書かれている内容を、その背景から解説していきます。また、歯学部を卒業後に得た臨床経験を生かし、生物学で学ぶ知識がどのように引き続き学修していく基礎医学や臨床医学に反映されるかといった視点とともに講義をしていきます。			
<b>■授業計画（講義の流れ）</b>			
1	細胞の構造と細胞小器官の役割、細胞膜の役割について理解する。細胞の活動について理解する。		
2	骨格筋の収縮メカニズム、膜タンパク質、分泌について理解する。細胞分裂について理解する。		
3	組織の種類について理解する。器官からなる主な器官系について理解する。		
4	有性生殖と減数分裂について理解する。遺伝の基本的な法則について理解する。		
5	遺伝子の発現について理解する。発生について理解する。		
6	感覚器、興奮の伝導と伝達について理解する。中枢神経と末梢神経について理解する。		
7	内部環境を保つ仕組みに関わるホルモンについて理解する。生体防御について理解する。		
8	定期試験、解答解説		